

ODYSSEY

Analog Synthesizer with 37 Full-Size Keys, Dual VCOs, 3-Way Multi-Mode VCFs, 32-Step Sequencer, Arpeggiator and Klark Teknik FX

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

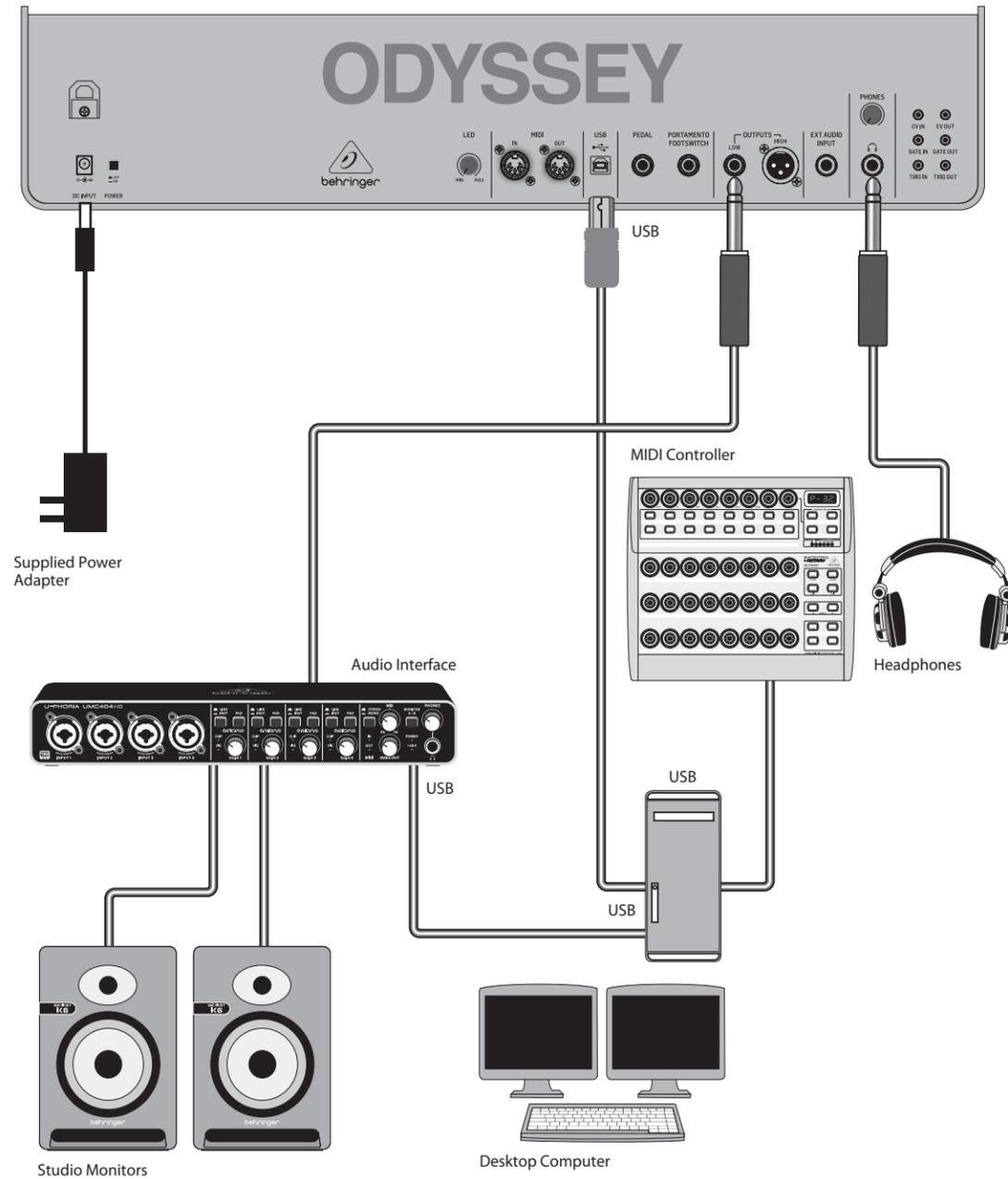
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

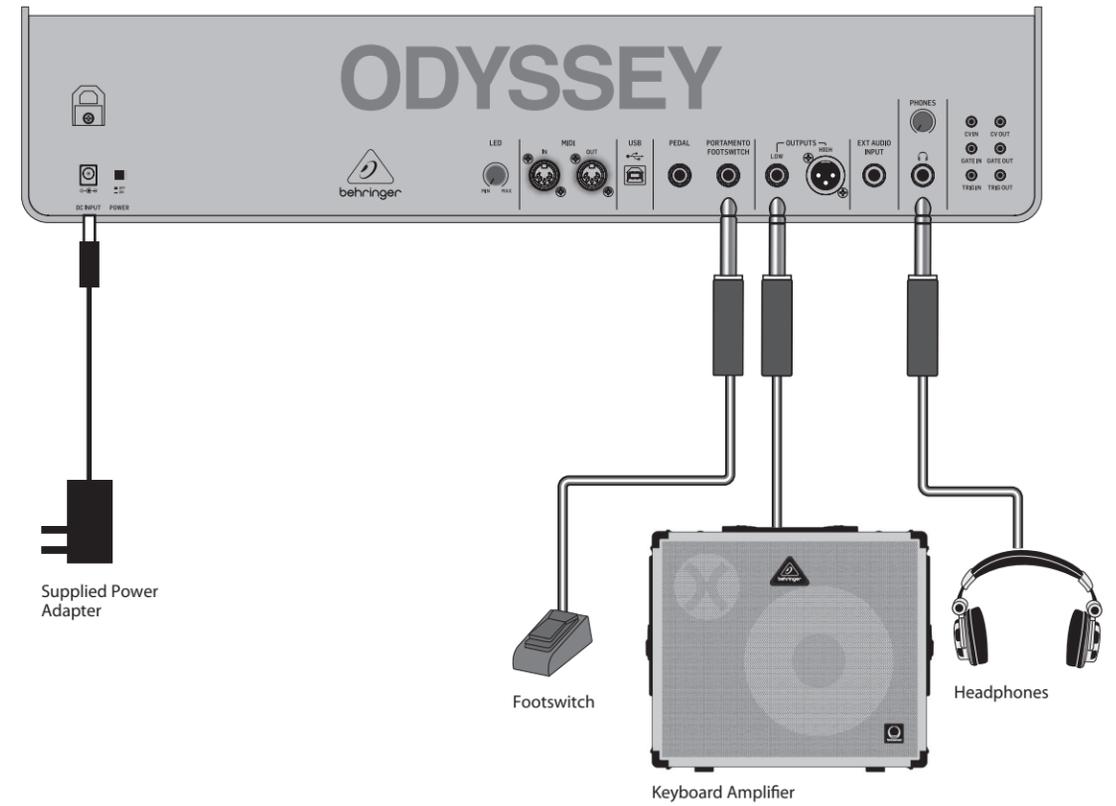
ODYSSEY フックアップ

ステップ 1: フックアップ

スタジオシステム



バンド / 練習システム

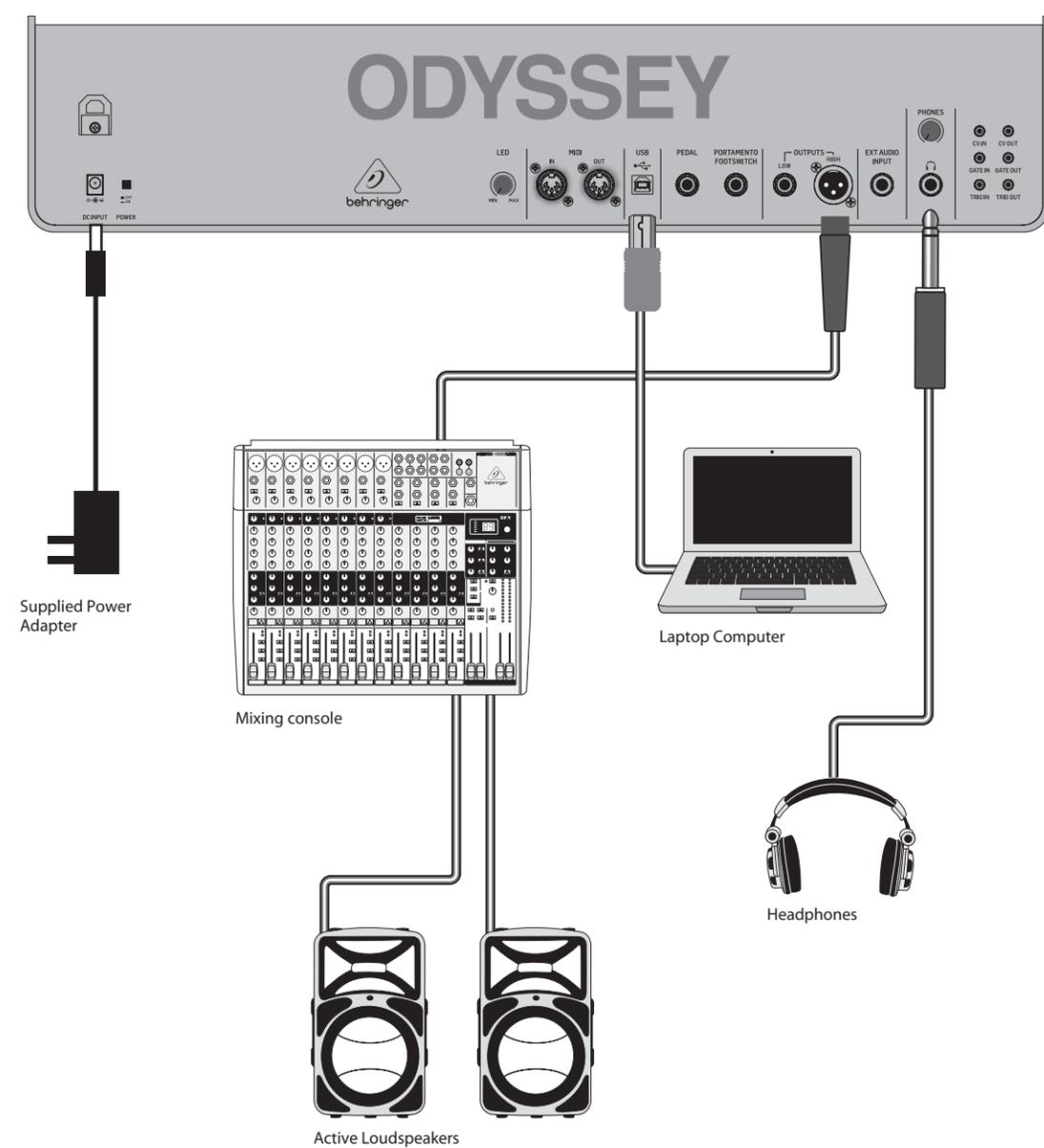


ODYSSEY フックアップ

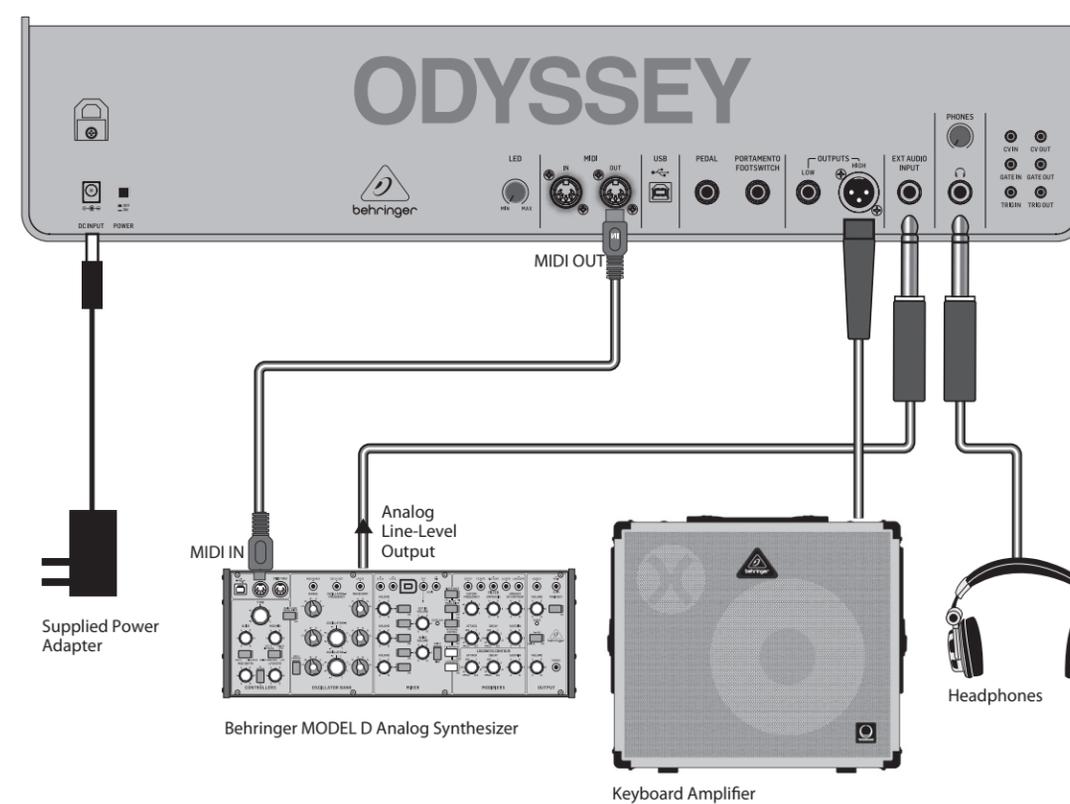
JP

ステップ 1: フックアップ

ライブシステム

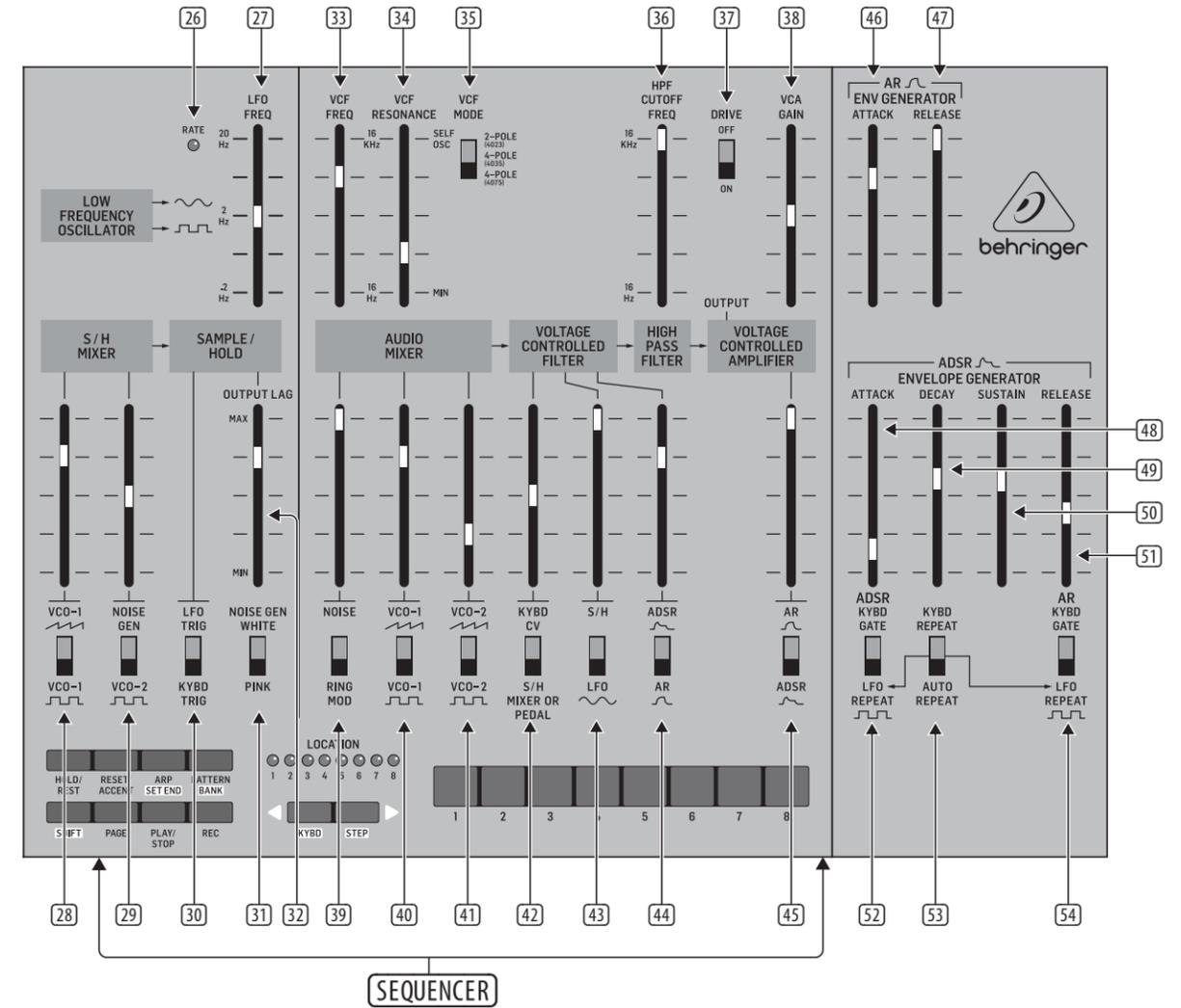
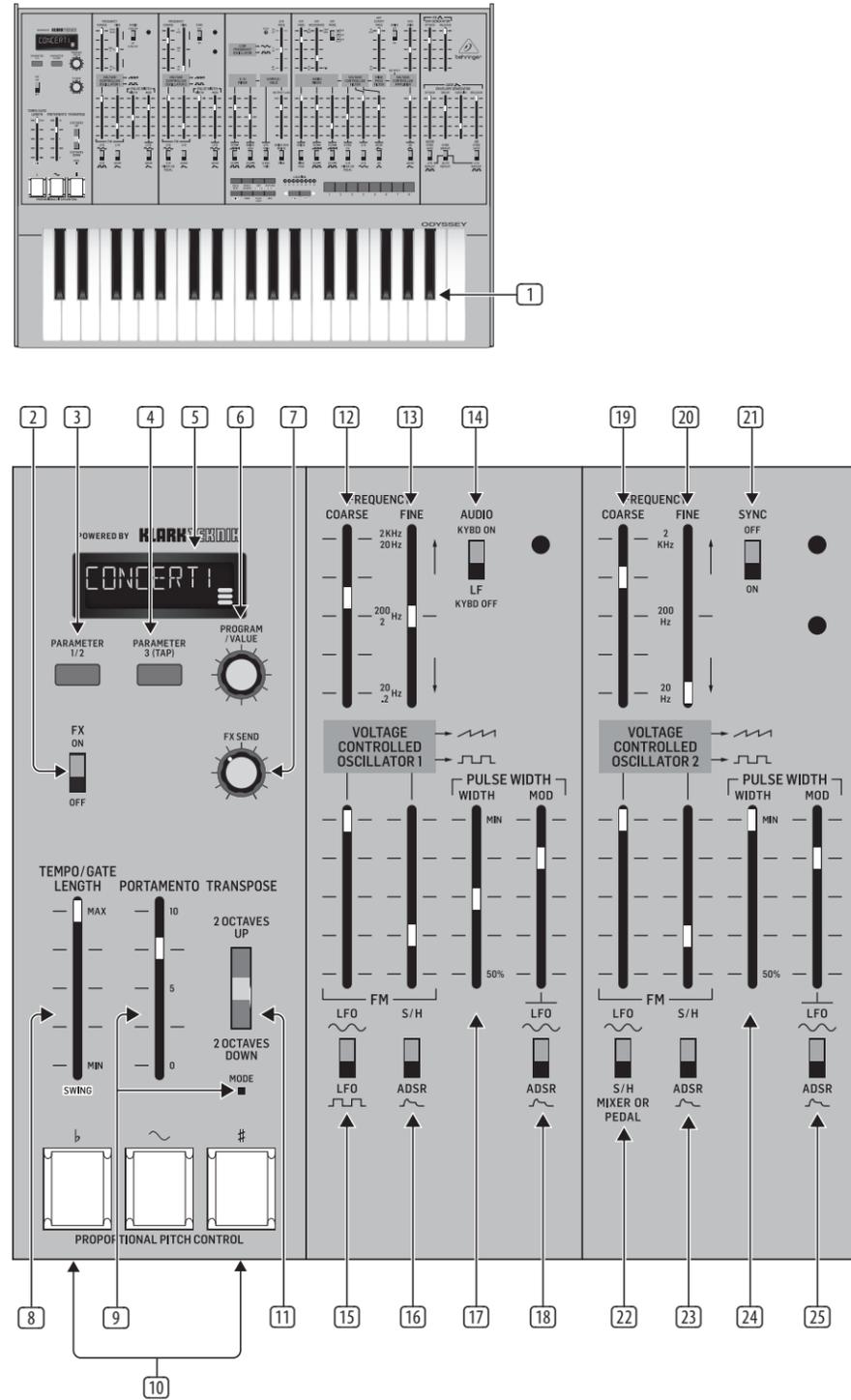


外部シンセサイザーを備えたシステム

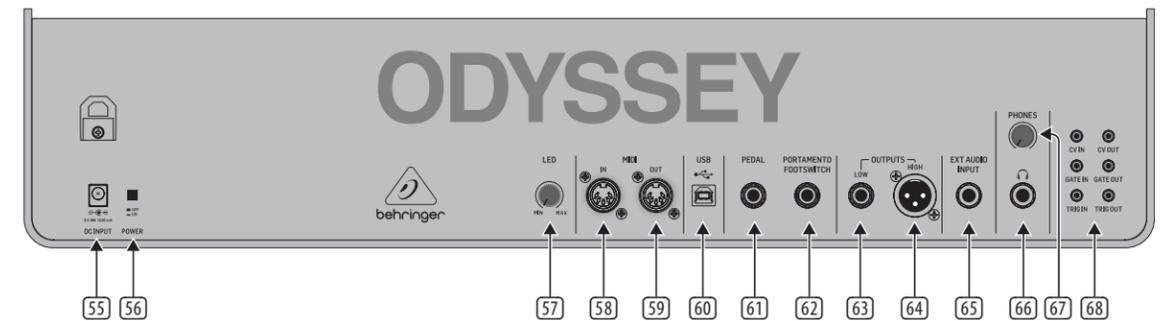


ODYSSEY コントロール

ステップ 2: コントロール



後面パネル



ODYSSEY コントロール

ステップ 2: コントロール

- ① **KEYBOARD** – キーボードには 37 個のセミウェイトのフルサイズキーがあります。

FX セクション

- ② **FX ON/OFF** – Klark Teknik FX 回路をオンまたはオフにします。
- ③ **PARAMETER 1/2** – 1 回押すと、現在の FX プログラムの最初のパラメーターが表示されます。PROGRAM / VALUE つまみを回して、パラメーター値を調整します。もう一度押すと、2 番目のパラメーターが表示されます。
- ④ **PARAMETER 3 (TAP)** – 1 回押すと、現在の FX プログラムの 3 番目のパラメーターが表示されます。PROGRAM / VALUE つまみを回して、パラメーター値を調整します。TEMPO パラメーターの場合、必要なテンポでこのスイッチをタップすることもできます。
- ⑤ **FX DISPLAY** – この LCD ディスプレイには、現在の FX プログラム、パラメーター 1~3、および値と単位が表示されます。

ディスプレイのコントラストを調整するには、PARAMETER 1/2 を押しながら PARAMETER 3 をタップします。

ディスプレイには、右端に沿ってオーディオレベルバーも表示されます。上部の「OL」オーバーロードバーが点灯している場合は、AUDIO MIXER フェーダーまたは VCA フェーダーを調整してオーバーロードや歪みを防ぎます。

- ⑥ **PROGRAM/VALUE** – このエンドレスブッシュエンコーダーを回転させて 32 の異なる FX プログラムから選択し、ノブを押して現在ディスプレイに点滅している FX をロードします。このノブは、PARAMETER スイッチを押した後、各 FX のさまざまなパラメーターの値を調整するためにも使用されます。
- ⑦ **FX SEND** – 回転して、追加される FX の量を最小から最大の効果 (完全に時計回り) に調整します。

コントロールセクション

- ⑧ **TEMPO/GATE LENGTH** – これはシーケンサーとアルペジオテンポを制御します。ステップ編集時には、GATE の長さも制御し、SHIFT を押したままにすると、SWING も調整します。

- ⑨ **PORTAMENTO** – キーボードのノート間のグライドタイムの量を調整します。凹型の MODE スイッチを押すと、TRANSPOSE スイッチを使用するときにはポルタメントが有効になります。リリースされた場合、ポルタメントは無効になります。オプションのフットスイッチを使用して、ポルタメントをオンまたはオフにすることができます。

- ⑩ **PROPORTIONAL PITCH CONTROL** – これらの感圧ソフトパッドを使用すると、ピッチを低くまたは高く調整したり、LFO モジュレーションを追加したりできます。強く押すと効果が上がります。

- ⑪ **TRANSPOSE** – この 3 ポジションスイッチを使用すると、キーボードの範囲を 2 オクターブ上下に移動できます。

VCO-1 セクション

- ⑫ **FREQUENCY COARSE** – 広範囲の調整で電圧制御発振器 1 (VCO-1) の周波数を調整します。
- ⑬ **FREQUENCY FINE** – 微調整範囲で VCO-1 の周波数を調整します。
- ⑭ **AUDIO KYBD ON/LF KYBD OFF** – 一番上の位置では、ODYSSEY とキーボードは通常どおり機能します。一番下の位置では、VCO-1 はキーボードの影響を受けずに低周波数に低減されます。VCO-1 周波数フェーダーを使用して調整します。
- ⑮ **FM FADER (LFO sine or square)** – フェーダーは VCO-1 の FM モジュレーションのレベルを調整します。スイッチは、FM 変調のソースとして LFO 正弦波または方形波を選択します。

- ⑯ **FM FADER (S/H or ADSR)** – フェーダーは VCO-1 の FM モジュレーションのレベルを調整します。スイッチは、FM 変調のソースとして S/H (サンプルアンドホールド) または ADSR エンベロープを選択します。

- ⑰ **PULSE WIDTH** – VCO-1 のパルス幅を正方形 (50%) から調整します。

- ⑱ **PULSE WIDTH MODULATION** – フェーダーは VCO-1 のパルス幅変調のレベルを調整します。スイッチは、パルス幅変調のソースとして LFO 正弦波または ADSR エンベロープのいずれかを選択します。

VCO-2 セクション

- ⑲ **FREQUENCY COARSE** – 広範囲の調整で VCO-2 の周波数を調整します。

- ⑳ **FREQUENCY FINE** – 微調整範囲で VCO-2 の周波数を調整します。

- ㉑ **SYNCON/OFF** – これをオンにすると、VCO-2 がその周波数を VCO-1 と同期できるようになります。(リングモジュレーションを使用する場合は、これをオフにしてください。)

- ㉒ **FM FADER (LFO sine or S/H mixer or pedal)** – フェーダーは VCO-2 の FM モジュレーションのレベルを調整します。スイッチは、FM 変調のソースとして LFO 正弦波または S/H ミキサーまたはペダルのいずれかを選択します。オプションのフットペダルをリアパネルに接続できます。

- ㉓ **FM FADER (S/H or ADSR)** – フェーダーは VCO-2 の FM モジュレーションのレベルを調整します。スイッチは、FM 変調のソースとして S/H または ADSR エンベロープを選択します。

- ㉔ **PULSE WIDTH** – VCO-2 のパルス幅を正方形 (50%) から調整します。

- ㉕ **PULSE WIDTH MODULATION** – フェーダーは VCO-2 のパルス幅変調のレベルを調整します。スイッチは、パルス幅変調のソースとして LFO 正弦波または ADSR エンベロープのいずれかを選択します。

LFO および S/H セクション

- ㉖ **RATE LED** – この LED は、低周波発振器 (LFO) の周波数で点滅します。

- ㉗ **LFO FREQ** – LFO の周波数を調整します。LFO は、VCO-1 および VCO-2 の FM およびパルス幅変調に使用して、S/H をトリガーし、VCF を変調し、REPEAT レートを変更することができます。

- ㉘ **S/H MIXER FADER (VCO-1 saw or pulse)** – フェーダーは、サンプル/ホールドへの入力レベルを調整します。スイッチは、S/H 入力ソースとして VCO-1 鋸歯状またはパルス波形を選択します。

- ㉙ **S/H MIXER FADER (Noise or VCO-2 pulse)** – フェーダーは入力レベルを S/H に調整します。スイッチは、S/H 入力ソースとして内部ノイズまたは VCO-2 パルス波形を選択します。

- ⑳ **S/H TRIGGER (LFO or KYBD)** – S/H が LFO またはキーボードのどちらでトリガーされるかを選択します。

- ㉑ **NOISE GEN (WHITE or PINK)** – 内部ノイズジェネレーターをホワイトノイズまたはピンクノイズから選択します。

- ㉒ **OUTPUT LAG** – サンプルを調整し、出力ラグタイムを保持します。

シーケンサーセクション

SEQUENCER – 17 ページと 44 ページの詳細を参照してください。

VCF セクション

- ㉓ **VCF FREQ** – 電圧制御フィルター (VCF) のカットオフ周波数を調整します。カットオフを超える周波数は減衰されます。

- ㉔ **VCF RESONANCE** – カットオフ周波数で与えられる音量レベルのブースト (レゾナンス) の量を調整します。

- ㉕ **VCF MODE** – 2 極 (4023)、4 極 (4035)、および 4 極 (4075) の 3 つの従来のフィルタータイプから選択します。

- ㉖ **HPF CUTOFF FREQ** – ハイパスフィルター (HPF) のカットオフ周波数を調整します。カットオフ未満の周波数は減衰されます。

- ㉗ **DRIVE ON/OFF** – ドライブのオンとオフを切り替えます。

- ㉘ **VCA GAIN** – 電圧制御増幅器 (VCA) のゲインを調整します。出力はキーボードによってトリガーされません。

オーディオミキサーセクション

- ㉙ **NOISE / RING MOD** – フェーダーは、ミックス全体に追加されるノイズまたはリングモジュレーションのレベルを調整します。スイッチは、内部ノイズジェネレーターとリングモジュレーションのどちらかを選択します。

- ㉚ **VCO-1 (saw or pulse)** – フェーダーは、ミックス全体に追加される VCO-1 のレベルを調整します。スイッチは、VCO-1 の鋸歯状またはパルス波形から選択します。

- ㉛ **VCO-2 (saw or pulse)** – フェーダーは、ミックス全体に追加される VCO-2 のレベルを調整します。スイッチは、VCO-2 の鋸歯状またはパルス波形から選択します。

VCF セクション

- ㉜ **KYBD CV / S/H Mixer or Pedal** – フェーダーは VCF への影響のレベルを調整します。スイッチは、VCF に影響を与えるソース、キーボード制御電圧または S/H ミキサー、またはオプションのペダルを選択します。

- ㉝ **S/H or LFO** – フェーダーは VCF への影響のレベルを調整します。スイッチは、VCF に影響を与えるソース (S/H または LFO 正弦波) を選択します。

- ㉞ **ADSR or AR** – フェーダーは、AR または ADSR エンベロープが VCF に与える影響のレベルを調整します。スイッチは、ADSR または AR エンベロープのいずれかを選択します。このスイッチ、および VCA セクションの同様のスイッチを使用すると、必要に応じて、VCF と VCA を別々のエンベロープで制御できます。

VCA セクション

- ㉟ **AR or ADSR** – フェーダーは、AR または ADSR エンベロープが VCA に与える影響のレベルを調整します。スイッチは、ADSR エンベロープまたは AR エンベロープのいずれかを選択します。

AR および ADSR エンベロープ

VCA に適用すると、AR エンベロープと ADSR エンベロープを使用して、時間の経過とともに再生されるノートのレベルを制御します。

VCF に適用すると、AR エンベロープと ADSR エンベロープを使用して、時間の経過とともに再生される各ノートのフィルターのカットオフ周波数を制御します。

さらに、AR および ADSR エンベロープは、VCO-1 および VCO-2 FM 変調およびパルス幅変調にも影響を与える可能性があります。

ATTACK、DECAY、および RELEASE ステージは時間の単位で測定され、SUSTAIN ステージはレベルの単位で測定されることに注意してください。

AR セクション

AR コントロールは、Decay = Zero、Sustain = Maximum に設定されている場合、ADSR コントロールと同様です。

- ㊱ **A-ATTACK** – これは、キーが押された後にレベルが最大に達するまでの時間を調整します。

- ㊲ **R-RELEASE** – これは、キーが離された後から信号が減衰するのにかかる時間を調整します。

ADSR セクション

- ㊳ **A-ATTACK** – これは、キーが押された後にレベルが最大に達するまでの時間を調整します。

- ㊴ **D-DECAY** – これは、アタックタイムが終了した後に SUSTAIN レベルに減衰する時間を調整します。

- ㊵ **S-SUSTAIN** – これにより、アタックタイムとディケイタイムが終了した後に到達するサステインレベルが設定されます。

- ㊶ **R-RELEASE** – これは、キーが離された後から信号が減衰するのにかかる時間を調整します。

KYBD / LFO リピートセクション

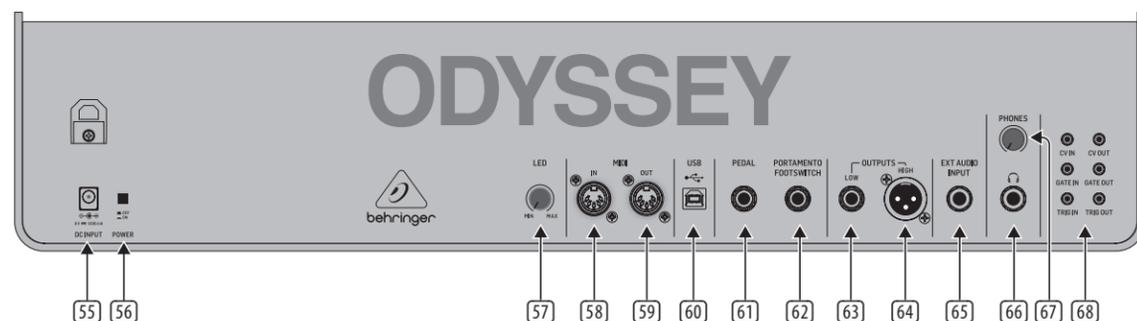
- ㊷ **ADSR KYBD GATE / LFO REPEAT** – 通常の使用では ADSR KYBD GATE に設定します。LFO REPEAT に設定すると、KYBD REPEAT / AUTO REPEAT スイッチの設定に応じて、ノートが演奏されたとき、または自動的に、LFO 周波数で設定されたテンポでノートが繰り返されます。

- ㊸ **KYBD REPEAT / AUTO REPEAT** – 隣接するスイッチのいずれかが LFO REPEAT に設定されている場合、ノートが再生されるとき (KYBD REPEAT 位置) または自動的に (AUTO REPEAT 位置)、LFO 周波数で設定されたテンポでノートが繰り返されます。

- ㊹ **AR KYBD GATE / LFO REPEAT** – 通常の使用では AR KYBD GATE に設定します。LFO REPEAT に設定すると、KYBD REPEAT / AUTO REPEAT スイッチの設定に応じて、ノートが演奏されたとき、または自動的に、LFO 周波数で設定されたテンポでノートが繰り返されます。

ODYSSEY コントロール

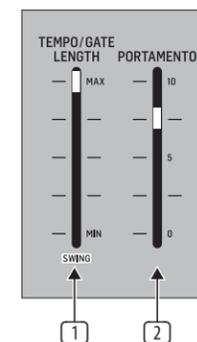
ステップ 2: コントロール



後面パネル

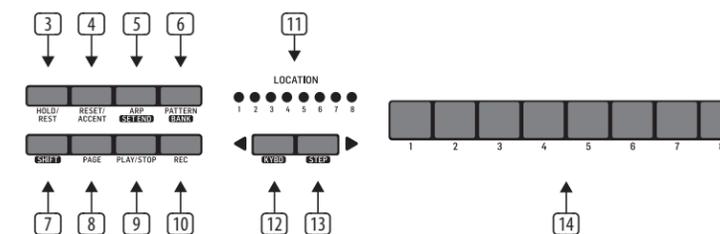
- 55 **DC INPUT** – 付属の DC 電源アダプターをここに接続します。電源アダプターは、50 Hz / 60 Hz で 100 V~240 V を供給できる AC コンセントに差し込むことができます。付属の電源アダプターのみを使用してください。
- 56 **POWER** – シンセサイザーをオンまたはオフにします。ユニットの電源を入れる前に、すべての接続が行われていることを確認してください。
- 57 **LED** – これにより、フェーダー LED の明るさが明るいからオフに調整されます。
- 58 **MIDI IN** – 外部ソースから MIDI データを受信します。これは通常、別の MIDI キーボード、外部ハードウェアシーケンサー、MIDI インターフェイスを備えたコンピューターなどです。
- 59 **MIDI OUT** – MIDI データをアプリケーションに送信します。
- 60 **USB PORT** – この USB タイプ B ジャックを使用すると、コンピューターに接続できます。ODYSSEY は、クラス準拠の USB MIDI デバイスとして表示され、MIDI の入出力をサポートできます。
- USB MIDI IN** – アプリケーションからの受信 MIDI データを受け入れます。
- USB MIDI OUT** – MIDI データをアプリケーションに送信します。
- 61 **PEDAL** – オプションの VOLUME フットペダルをここに接続して、スイッチが PEDAL の位置に設定されている場合に VCO-2 FM モジュレーションと VCF を変更できます。

- 62 **PORTAMENTO Footswitch** – オプションのフットスイッチをここに接続して、ポルタメントをオンまたはオフにすることができます。
- 63 **MAIN OUTPUT LOW** – この出力を、たとえばギターアンプやミキサーの低レベル入力に接続します。
- 64 **MAIN OUTPUT HIGH** – この出力を、ミキサー、キーボードアンプ、パワードスピーカーなどのラインレベル入力に接続します。
- 65 **EXT AUDIO INPUT** – この入力、外部オーディオデバイスからのラインレベルのオーディオ出力に接続できます。レベルはソースで調整でき、キーボードまたはシーケンサーパターンを演奏すると演奏されます。低レベルのソースは、外部のプリアンプまたはミキサーを使用してラインレベルにブーストする必要がある場合があります。
- 66 **PHONES** – ヘッドフォンをこの出力に接続します。ヘッドホン装着する前に、PHONES の音量つまみが下がっていることを確認してください。
- 67 **PHONES VOLUME** – ヘッドホン装着したり、ユニットの電源を入れる前に、ヘッドホンの音量を安全なレベルに調整してください。
- 68 **CV/GATE/TRIGGER INPUTS and OUTPUTS** – これらの入力と出力により、モジュラーシンセサイザー機器などの互換性のある外部デバイスからの制御電圧、ゲート、トリガー信号を接続できます。



シーケンサーセクション

- 1 **TEMPO/GATE LENGTH** – これは、クロックソースが内部に設定されている場合のシーケンサーと ARP テンポを制御します。ステップ編集時には、ゲート長も制御します。
シーケンサーの演奏中に SHIFT を押し続けると、スイングが調整されます。アルペジオの演奏中に SHIFT を押し続けると、ARP ゲートの長さが調整されます。
- 2 **PORTAMENTO** – ステップ編集に、このフェーダーを使用して、現在のステップを 1、2、3、または 4 つの部分に分割することでラチェットを追加できます。SHIFT を押しながらフェーダーを動かすと、現在のステップが LOCATOR LED (黄色) 1 から 4 で示されるパーツの数に分割されます。
- 3 **HOLD/REST** – キーボードの再生中に、これにより最後に再生された音を保持できます。シーケンサーの再生では、これにより現在のステップを保持することができます。ステップ編集に、休符を入力することができます。HOLD と ARP を押してアルペジオをホールドします。
- 4 **RESET/ACCENT** – 再生中に、パターンをステップ 1 にリセットできます。ステップ編集に、ステップにアクセントを追加できます。



- 5 **ARP (SET END)** – ARP モードでは、キーボードで保持されているノートに基づいてアルペジオが演奏されます。すべてのキーを離れたときにアルペジオを演奏し続けるには、ARP を 2 回押すか、HOLD と ARP を押します。シーケンサーモードでは、SHIFT と SET END を同時に押してから STEP スイッチを押すと、そのステップが現在のパターンの終わりになります。
- 6 **PATTERN (BANK)** – このスイッチは、次のように、現在のパターンまたはバンク番号のいずれかにアクセスするために使用されます。
PATTERN: PATTERN を押すと、8 つの LOCATION LED の 1 つに現在のパターン番号 (1 から 8) が表示されます。別のパターン番号に変更するには、PATTERN を押したまま STEP スイッチ (1~8) のいずれかを押すか、<KYBD を押してパターン番号を小さくするか、STEP> を押してパターン番号を大きくします。
BANK: SHIFT と PATTERN を押すと、8 つの LOCATION LED の 1 つに現在のバンク番号 (1 から 8) が表示されます。別のバンク番号に変更するには、SHIFT と BANK の両方を押したまま、STEP スイッチ (1~8) のいずれかを押すか、<KYBD を押して下げるか、STEP> を押してバンク番号を増やします。
- 7 **SHIFT** – これは、SET END、BANK、SWING、KYBD、STEP などの他のシーケンサーコントロールの 2 次機能にアクセスするために使用されます。SHIFT と他のスイッチを同時に押し続けます。たとえば、SHIFT + PATTERN (BANK) は、LOCATOR LED に現在の BANK 番号を表示します。
- 8 **PAGE** – 各パターンの長さは最大 32 ステップです。このスイッチを使用すると、それぞれ 8 ステップの 4 ページのそれぞれを表示できます。LOCATION LED 1~4 は、現在のページにいるかを示します。パターンが再生されている場合、STEP LED は現在のページで使用中のステップを示します。
- 9 **PLAY/STOP** – パターンの再生を開始または停止します。SHIFT を同時に押した場合、これがパターン保存手順の開始です。これについては以下で説明します。
- 10 **REC** – これを押すと、新しいパターンの記録が始まります。これは、パターン保存手順中に SHIFT とともに使用されます。
- 11 **LOCATION** – これらのマルチカラー LED は、現在のパターン番号、現在のバンク番号、現在のページ、ラチェット、ゲート長など、さまざまな詳細を表示します。
- 12 **KYBD** – SHIFT + <KYBD を押して、シーケンサーをキーボードモードに変更します。
- 13 **STEP** – SHIFT + STEP> を押して、シーケンサーを STEP モードに変更します。キーボードが演奏されない場合は、STEP モードになっていないことを確認してください。
- 14 **STEP SWITCHES** – これらの多機能スイッチを使用すると、個々のパターンステップの表示と選択、パターン番号の選択、パターンバンクの選択を行うことができます。パターンの記録中に、現在のステップが表示されます。アクティブなステップは赤色の LED で点灯し、現在のステップは赤色に点滅します。

ODYSSEY はじめに

JP

ステップ 3: はじめに

概要

この「はじめに」ガイドは、ODYSSEY アナログシンセサイザーのセットアップとその機能の簡単な紹介に役立ちます。

接続

ODYSSEY をシステムに接続するには、このドキュメントの前半にある接続ガイドを参照してください。

注意: 使用する場合は、3.5 mm 入力に過負荷をかけないでください。それらは、仕様表に示されている正しいレベルの電圧のみを受け入れることができます。

ソフトウェアのセットアップ

ODYSSEY は USB クラス準拠の MIDI デバイスであるため、ドライバーをインストールする必要はありません。ODYSSEY は、Windows および MacOS で動作するために追加のドライバーを必要としません。

ハードウェアのセットアップ

システム内のすべての接続を確立します。

付属の電源アダプターのみを使用して、ODYSSEY に電源を投入してください。サウンドシステムがオフになっていることを確認してください。リアパネルの電源スイッチをオンにします。

ウォームアップタイム

レコーディングやライブパフォーマンスの前に、ODYSSEY がウォームアップするまで 15 分以上待つことをお勧めします。(寒さから持ち込まれた場合は長くなります。) これにより、高精度のアナログ回路が通常の動作温度と調整されたパフォーマンスに到達するまでの時間が長くなります。

初期設定

次の手順は、ODYSSEY でサウンドを作成するのに役立ちます。

- 電源を切った状態で、ヘッドホンを接続し、リアパネルのヘッドホンノブを下げます。
- AUDIO MIXER セクションで、スイッチをのこぎり波に設定して、VCO-1 フェーダーを上げます。他のすべてのフェーダーを下げます。(これらのフェーダーがすべてダウンしている場合、聞くソースはありません。)
- VCF セクションで、VCF FREQ フェーダーを上げます。(フェーダーがダウンしている場合は、ローパスフィルターのカットオフ周波数が低すぎる可能性があります。)

- VCA セクションで、VCA フェーダーを上げます。(スイッチが ADSR に設定されている場合は、最初に D (ディケイ) フェーダーまたは S (サステイン) フェーダーを上げてください。)
- ODYSSEY をオンにしてキーボードでノートを演奏し、リアパネルのヘッドホンノブを調整して快適なリスニングレベルにします。
- 音が聞こえない場合は、シーケンサーセクションで SHIFT+<KYBD を押したままにして、ステップモードではなくキーボードモードになっていることを確認します。REC スwitch の LED がオフになっていることを確認します。

オーディオミキサーセクション

ODYSSEY には、VCO-1、VCO-2、およびノイズ用のレベルフェーダーがあります。VCO-1 および VCO-2 は、鋸歯状またはパルス波形にすることができます。これらの 3 つのフェーダー、および任意の組み合わせを調整して、オーディオミックスを作成できます。

VCO-1 および VCO-2 セクション

再生しながら周波数フェーダーを調整すると、さまざまなオクターブで周波数の増減が聞こえます。

各 VCO は、LFO (パルスまたは正弦波) または S/H または ADSR エンベロープのいずれかによって FM 変調できます。FM フェーダーを使用すると、VCO ごとに適切な FM モジュレーションを作成できます。

PULSE WIDTH フェーダーを使用して、パルス幅を調整します。MOD フェーダーを使用すると、パルス幅を LFO 正弦波または ADSR エンベロープで変調できます。

サンプルとホールドセクション

S/H は、VCO-1 と VCO-2、および VCF のランダム FM 変調に使用できます。これらの各セクションで S/H スwitch を探してください。

S/H MIXER セクションでは、S/H に使用されるソースを、VCO-1 (のこぎりまたはパルス) とノイズまたは VCO-2 パルスからミックスすることができます。フェーダーを変えて、その効果を聞いてください。

S/H スwitch が選択されていないか、それらのフェーダーがダウンしている場合、または両方の SH ミキサーフェーダーがダウンしている場合、効果はありません。

VCO-1 FM モジュレーションスswitch をフェーダーを上げた状態で S/H に切り替えてから、VCO-1 の S/H MIXER フェーダーを上げてみてください (のこぎりまたはパルス)。

LFO でトリガーするように S/H を設定してから、LFO の周波数を調整してみてください。

VCF セクション

VCF 周波数フェーダーと VCF レゾナンスを調整し、サウンドへの影響を聞いてください。VCF MODE スwitch を変更して、3 つのクラシックモードから選択します。

KYBD/S/H MIXER または PEDAL フェーダーは、演奏されるノートのピッチ、S/H、またはオプションのフットペダルによって VCF がどの程度影響を受けるかを調整します。

S/H/LFO フェーダーは、VCF のモジュレーションの量を調整します。モジュレーションソースとして S/H と LFO のどちらかを選択します。フェーダーを変えて、S/H コントロールまたは LFO レートフェーダーを調整します。

ADSR/AR フェーダーは、ADSR または AR エンベロープコントロールが VCF に与える影響の量を調整します。

VCA セクション

VCA スwitch を使用すると、VCA が ADSR または AR エンベロープコントロールのどちらの影響を受けるかを選択できます。フェーダーと、必要に応じて VCA GAIN フェーダーを調整します。ハイパスフィルターは、不要な低周波数をカットオフするために使用されます。必要に応じて、ドライブのオンまたはオフを選択します。

ADSR および AR エンベロープセクション

これらのフェーダーは VCA を調整し、その効果は音量レベルと時間の経過に伴う変化に影響します。

これらのフェーダーは VCF も調整し、その効果はカットオフ周波数とその時間変化に影響します。

VCO-1 および VCO-2 セクションの関連するスswitch が ADSR に設定されている場合、VCO-1 および VCO-2 のパルス幅と FM 変調も ADSR エンベロープコントロールの影響を受ける可能性があります。

ポルタメント

ポルタメントフェーダーを使用すると、異なる演奏ノート間のグライドタイムを調整できます。オプションのフットスswitch を使用すると、PORTAMENTO をオンまたはオフにすることができます。

ARPEGGIATOR

アルペジエーターを使用するには、シーケンサーセクションの ARP スwitch を押しします。

- 一度押すとアルペジエーターが鳴ります。(ノートがリリースされると停止します。)
- 2 回押すか、HOLD と ARP を押してアルペジエーターを再生して押し続けます。(ノートがリリースされると継続します。)

アルペジエーターレートは、TEMPO/GATE LENGTH フェーダーで設定します。

アルペジエーターの演奏順序には 8 つのオプションがあり、アルペジエーターの演奏中に <KYBD または STEP> を押すと変更できます。LOCATION LED は、現在の順序 1 から 8 を示します。

- アップ
- ダウン
- ダウンとアップ
- ランダム
- UP (+10CT)
- ダウン (+10CT)
- アップ (-10月1日)
- ダウン (-10月1日)

アクセント

鍵盤を弾いている場合、ベロシティがスレッシュホールドを超えるとアクセントが自動的にトリガーされます。(このアクセントベロシティのしきい値は、Synth Tool APP を使用して調整するか、この機能を無効にすることができます。)

再生中にアクセントを使用するには、ACCENT スwitch を押しします。

- 押し続けると、アクセント状態のノートが再生されます。(スswitch を離すと停止します。)
- 2 回押すと、アクセント状態が再生されたままになります。(LED がゆっくり点滅します。)

注の優先順位

複数のノートが同時に再生される場合、再生されるノート (ノートの優先度) は、使用されている VCO によって異なります。

VCO-1: 最低音が演奏されます

VCO-2: 最高音が演奏されます。

シーケンサー

シーケンサーを使用すると、最大 32 ステップの音符と休符をプログラムし、それらをパターンとして保存できます。8 パターンの 8 バンクで、最大 64 パターンを記録、保存、および呼び出すことができます。

シーケンサーには、パターンを作成して保存できるキーボードモードと、パターンを作成しながら操作できるステップモードの 2 つの操作モードがあります。

シーケンサーの操作の詳細は、44 ページに示されています。

クラークテクニクの効果

FX セクションは FX オン/オフスswitch を使用して作動します。PROGRAM/VALUE つまみを回して押すと、32 種類のクラシックエフェクトから選択できます。

各 FX プログラムには 3 つのパラメーターがあり、PARAMETER スwitch を押すと表示され、ノブを回すと変更できます。FX SEND レベルノブを使用して FX のレベルを調整します。

FX プログラム、パラメーター、および値の範囲のリストについては、48 ページを参照してください。

ファームウェアの更新

SynthTool アプリは、当社の Web サイト behringer.com の ODYSSEY 製品ページから無料でダウンロードできます。

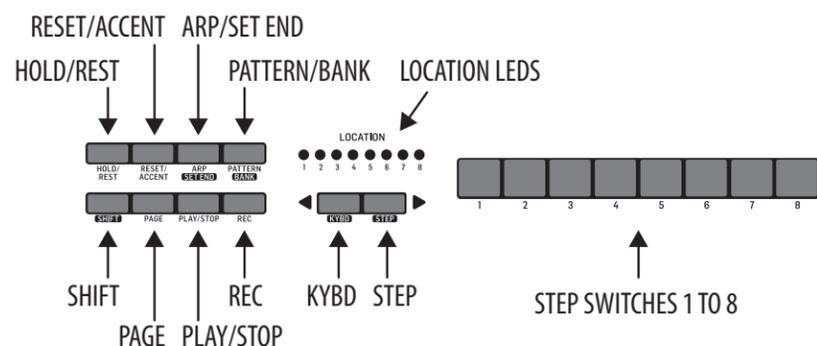
最新のファイルをダウンロードしてコンピューターに保存し、必要に応じて ODYSSEY を更新するために使用できます。

楽しんで

ODYSSEY には、さまざまなゲート、トリガー、および CV の入力と出力があり、他の ODYSSEY ユニットやモジュラーシンセサイザー機器へのさらなる実験と拡張が可能です。

これらすべてのコントロールにより、ODYSSEY による音楽の創造性の可能性は無限大です。旅を楽しんでいただければ幸いです。

ODYSSEY シーケンサーの操作



概要

以下の詳細は、シーケンサーの基本的な操作の一部を示しています。より複雑なパターンを試す前に、2または3ステップの短いパターンを作成できます。ゲートの長さ、ラチェット、アクセント、ポルタメント、レスト、タイ、スイングなど、一度に1つのパラメーターを調整し、再生中にその効果を聞きます。

最初は、ソースが1つだけで、VCOまたはVCFのモジュレーションがないなど、シンセサイザーの単純な設定を選択すると役立ちます。

ステップノートの長さは、後述の手順で調整できます。

シンプルなパターンの録音

1. Shiftキーと<KYBD>を押して、キーボードモードを選択します。
2. SHIFT、RESET、PATTERNを同時に押して、現在のパターンを初期化します。これにより、現在のパターンの前のステップがすべて削除されます。
3. RECを押すと、STEP 1スイッチのLEDが点滅し始め、これが追加および編集されようとしている現在のステップであることを示します。(RECを選択できない場合は、手順1を繰り返します。)
4. キーボードの任意の音符を押すか、以下に示すように残りを押します。
5. ノートの代わりに休符を入力するには、HOLD/RESTスイッチを押します。休符を追加すると、LOCATOR LED 8が点灯します。
6. さらにメモを押します。次のSTEPスイッチLEDは、各音符または休符が追加された後に点滅します。

7. ステップのゲート長は、TEMPO/GATE LENGTHコントロールを使用して調整できます。LOCATOR LEDが赤に変わり、ゲート長が1~8であることを示します。8に設定すると、次のステップとのタイが作成されます。次のステップが同じ音符である場合、2つのステップが結び付けられているため、これにより長い音符が作成されます。
8. 「ラチェット」を作成するには、Shiftキーを押しながらPORTAMENTOフェーダーを調整します。ロケータLEDは、1から4までのラチェットの数を黄色で表示します。たとえば、設定が4の場合、単一のステップは4つの等しい部分に分割されます。ラチェットが適用されると、LOCATION LED 6点灯します。
9. ステップでポルタメントをオンにするには、PORTAMENTOフェーダーを上げます。オフにするには、完全に下げます。ポルタメントがステップオンになると、LOCATION LED 5が点灯します。
10. 明るさやアクセントを上げるには、RESET/ACCENTスイッチを押します。アクセントを付けると、LOCATION LED 7が点灯します。
11. パターンの作成が終了したら、RECを押します。まだ保存されていませんが、再生することができます。**注意:** ユニットの電源を切ったり、新しいパターンを作成したりしないでください。現在の未保存のパターンが失われます。

パターンを再生する

1. PLAY/STOPを押して、現在のパターンを聴きます。

2. 保存しない場合は、上記の録音手順を繰り返して、新しいパターンを録音することができます。または、PATTERNとRESETを押して、現在保存されているパターンを呼び出し、変更を破棄します。
3. パターンを保存する場合は、以下の「パターンを保存する」の手順を踏む必要があります。そうしないと、新しいパターンを開始したり、電源を切ったりしても、メモリに残りません。
4. このパターンのSWINGを作成するには、Shiftキーを押しながらTEMPO/GATELENGTHフェーダーを調整します。中央の位置では、スイングは適用されません。下げるとオフビートのみが再生され、完全に上げるとオンビートのみが再生されます。以下のようにパターンを保存すると、パターンのSWING設定が保存されます。
5. パターンを演奏している間:
HOLD/RESTを押して、現在のステップを保持します。
RESET/ACCENTを押して、手順1に戻ります。
Shiftキーと任意のステップを押すと、ゲートの長さ、レスト、アクセント、ラチェット、ポルタメントを編集できますが、メモはできません。SHIFTと同じSTEPをもう一度押して、ステップ編集を終了します。(再生を一時停止した場合、同じ操作でノート編集することもできます。)
PAGEを押して、1から4までのパターンページを表示します。ShiftキーとPAGEキーを押して、自動ページめくりに戻ります。
SHIFTとARP/SET ENDとSTEPを押して、シーケンスの終了ステップを変更します。
再生/停止再生を一時停止します。
6. PLAY/STOPを押します。

パターンを保存する

1. 現在のパターン番号のLOCATOR LEDがゆっくりと緑色に点滅し始めるまで、SHIFT+PLAY/STOPを2秒間押し続けます。
2. STEPスイッチ1~8を押して、新しい希望のパターン番号を選択します。
3. PATTERN+STEPスイッチ1~8を押して、希望のバンク番号を選択します。
4. Shift+RECを押してパターンを保存し、保存モードを終了します。

保存されたパターンのリコール

1. PATTERNを長押しします。LOCATION LEDは、現在のパターン番号を示します。<KYBDまたはSTEP>スイッチを使用してパターン1~8を上下に移動するか、STEPスイッチ1~8を押します。パターンの再生中にこれを行うこともできます。
2. SHIFTとPATTERNを押し続けます。LOCATION LEDは、現在の銀行番号を示します。<KYBDまたはSTEP>スイッチを使用してバンク1~8を上下に移動するか、STEPスイッチ1~8を押します。パターンの再生中にこれを行うこともできます。
3. PLAY/STOPを押して、現在のパターンを再生します。
4. 再生中、LOCATION LEDはパターンの現在のページ(1から4)を示し、STEPスイッチLEDは移動するステップを示します。

ライブパフォーマンス

再生中は、次のように一時的に調整できます。(これらのどれもパターンと一緒に保存されません。)

1. パターンのすべてのステップにラチェットを追加するには、pSHIFTを押して、PORTAMENTOフェーダーを調整します。

2. SWINGを追加するには、Shiftキーを押しながらTEMPOフェーダーを調整します。
3. パターンをミュートするには、SHIFT+HOLD/RESTを押します。
4. すべてのステップにアクセントを追加するには、Shift+RESET/ACCENTを押します。
5. TRANSPOSEスイッチを使用してオクターブを変更します。

パターンの編集

1. キーボードモードでパターンを編集するには、RECを押します。STEPスイッチのLEDが点灯します。
2. PAGEを押して、編集する1~4のパターンページを選択します。緑のLOCATION LED 1~4は、現在のページを示します。
3. SHIFTと編集したいSTEPスイッチを押します。新しい音符または休符を入力し、ラチェット、ポルタメントなどの他のパラメーターを調整できます。
4. SHIFTを押して、編集する次のSTEPスイッチを押します。(ステップは自動的に次のステップに進むことはありません。次に編集するステップを選択できます。)
5. RECを押して編集モードを終了します。
6. PLAY/STOPを押して、編集したパターンを聴きます。
7. 上記の「パターンの保存」手順を使用してパターンを保存することを忘れないでください。

ステップモードでパターンを作成する

1. SHIFTとSTEP>を押して、シーケンサーのSTEPモードを選択します。点滅しているLOCATION LEDが緑色(キーボードモード)から黄色(ステップモード)に変わります。

2. SHIFT、RESET、PATTERNを同時に押して、現在のパターンを初期化します。これにより、現在のパターンの前のステップがすべて削除されます。(代わりに現在のパターンを使用する場合は、初期化しないでください。)
3. PAGEを押して、パターンの目的のページに移動します。次に、SET ENDとSTEPスイッチを押して、パターンの長さを選択します。たとえば、1ページにいてSET END+8を押すと、パターンの長さは8ステップになります。PAGEを押してページ4に到達し、SET END+8を押すと、パターンの長さは32ステップになります(各8ステップの4ページ)。
4. 希望のSET ENDを選択すると、そのステップまでのすべてのSTEPスイッチLEDが赤く点灯します。
5. SHIFTを押すと同時にSTEPスイッチのいずれかを押します。点滅し始め、編集しようとしている現在のステップであることを示します。これで、ラチェット、ポルタメント、アクセント、ゲート長の変更など、キーボードモードでメモや休符、または上記の他の機能を追加できます。
6. SHIFTと現在のSTEPスイッチを押して、そのステップの編集を終了します。点滅が止まります。
7. 必要なすべての手順が完了するまで、上記の手順5と6を繰り返します。
8. PLAY/STOPを押してパターンを再生します。
9. 再生中に、上記の「ライブパフォーマンス」の手順に示すように一時的な調整を追加できます。

ステップモードでパターンを保存する

1. 上記のKEY BOARDモードの「SAVING A PATTERN」の手順でパターンを保存します。

ODYSSEY パラメータセット

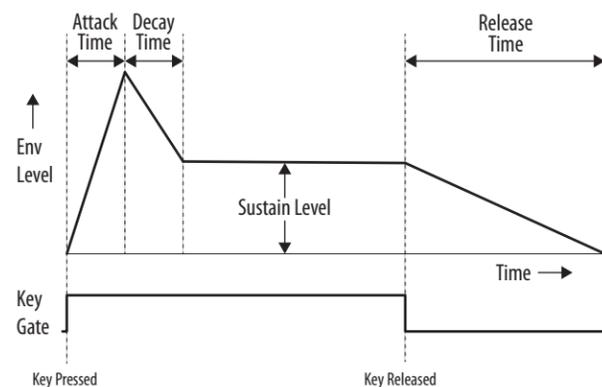
パラメータの変更

パラメータは、次の手順を使用して変更できます。

- SHIFT + HOLD / REST + 8 を押して、設定モードに入ります。LOCATION LED 1 が黄色に点滅します。
- <KYBD または STEP> を押して、ページ 1、2、または 3 を選択します。黄色の LOCATION LED は、現在のページを示します。
- ページ 1 では、MIDI 入力チャンネル 1~16 を選択できます。
- 2 ページ目では、MIDI 出力チャンネル 1~16 を選択できます。
- 3 ページ目では、1 から 4 までのクロックソースを選択できます（内部 / MIDI DIN / MIDI USB / AUTO）。AUTO を使用する場合、クロックの優先順位は MIDI USB > MIDI DIN > INTERNAL です。
- STEP スイッチ 1~8 を押して、1~8 の数値を選択します。現在の値は緑色の LOCATION LED で示されます。
- 値 9~16 にアクセスするには、SHIFT + STEP スイッチ 1~8 を押します。現在の値は赤い LOCATION LED で示されます。
注意: 設定が現在のページの LED と同じ LED 番号にある場合、LED は黄色のページの色と緑または赤のパラメータの色の間で交互に点滅します。
- SHIFT + HOLD / REST + 8 を押して設定モードを終了し、パラメーターの変更を保存します。
- Synthtool アプリを使用して、より多くのパラメーターを変更できます。

ADSR エンベロープ

ADSR エンベロープのステージは、以下の簡略図に示されています。エンベロープは、VCAレベル、または VCF カットオフ周波数、および VCO-1 と VCO-2 の FM およびパルス幅変調を制御できます。



ODYSSEY SysEx 情報

システム専用コマンド

一部の ODYSSEY パラメーターは、MIDI システムエクスクルーシブ (SysEx) コマンドを使用して変更できます。MIDI OX などの MIDI ユーティリティを使用して、コンピューターと ODYSSEY 間の USB MIDI 接続を使用して、SysEx コマンドデータ文字列を ODYSSEY に送信できます。

MIDI SysEx メッセージ

SysEx メッセージを作成するときは、次のデータ形式が使用されます。この SysEx データ文字列のさまざまな項目について以下に説明します。

フレームスタート F0	マヌーID 00 20 32	デバイス ID aa bb cc	PKY dd	SPKT ee	パラメータ D0 ... Dn-1	フレームエンド F7
----------------	-------------------	---------------------	-----------	------------	----------------------	---------------

項目	説明
00 20 32	メーカー-SysExID 番号 (Behringer GmbH)
aa bb cc	ODYSSEYのデバイスID: 00 01 03
dd	これはメインパケットタイプ (略称 PKT) です。
ee	サブパケットタイプ (略称 SPKT) です。一部のパケットには SPKTがありません。
D0 ... Dn-1	パラメータ値。

名前	コマンド	パラレンジ (D0 ... Dn)。
MIDI チャンネルを設定する	F0 00 20 32 00 01 03 0E D0~D2 F7	D0: 固定値 0x01 D1: MIDI 出力チャンネルの値は 0x00~0x0F です → チャンネル 1~16 デフォルト値: 0x00 D2: チャンネルの MIDI の値は 0x00~0x0F です → チャンネル 1~16 デフォルト値: 0x00
速度情報を設定する	F0 00 20 32 00 01 03 10 D0~D2 F7	D0: ベロシティのノートの値は 0x00~0x7F です → 1~127 は速度の固定値、0 は動的速度です。 デフォルト値: 0x00 D1: ノートオフベロシティの値は 0x00~0x7F です → 1~127 は速度の固定値、0 は動的速度です。 デフォルト値: 0x00 D2: 速度曲線の値は 0x00~0x02 です → 0-ソフト、1-中、2-ハード デフォルト値: 0x00
ピッチバンド範囲を設定する	F0 00 20 32 00 01 03 11 D0 D1 F7	D0: ピッチバンド範囲の値は 0x00~0x0C です → 半音 0~12 デフォルト値: 0x0C D1: 固定値 0x00
MIDI クロックを設定する	F0 00 20 32 00 01 03 17 D0 F7	D0: 0x00 → 無効 / 0x01 → 有効にする デフォルト値: 0x00
シーケンサーの設定 自動再生	F0 00 20 32 00 01 03 1D D0 F7	D0: 0x00 → 無効 / 0x01 → 有効にする デフォルト値: 0x01
クロックソースの設定	F0 00 20 32 00 01 03 1B D0 F7	D0: クロックソースの値は 0x00~0x03 です → 0x00: INT 0x01: MIDI 0x02: USB 0x03: 自動 デフォルト値: 0x00
アクセントのしきい値を設定する	F0 00 20 32 00 01 03 1C D0 F7	D0: 有効値 00~7E 値 7F を無効にする デフォルト値: 0x60
シーケンサーデータを取得する	F0 00 20 32 00 01 03 77 D0 D1 F7	D0: 銀行番号の値は 0x00~0x07 です → バンク 1~8 D1: パターン番号の値は 0x00~0x07 です → パターン 1~8
シーケンサーデータの 設定	F0 00 20 32 00 01 03 78 D0 D1 D2~Dn F7	D0: 銀行番号の値は 0x00~0x07 です → バンク 1~8 D1: パターン番号の値は 0x00~0x07 です → パターン 1~8 D2~Dn: シーケンサーデータ。
構成パラメーターの取得	F0 00 20 32 00 01 03 75 F7	NA
構成パラメーターの設定	F0 00 20 32 00 01 03 76 D0~D11 F7	D0~D2: MIDI チャンネル選択 D3~D5: ベロシティセレクト D6~D7: ピッチバンドセレクト D8: MIDIクロックイネーブルコントロール D9: シーケンサーオートプレイイネーブルコントロール D10: クロックソース選択 D11: アクセントしきい値の選択
工場出荷時の設定に戻す	F0 00 20 32 00 01 03 7D F7	NA

ODYSSEY MIDI

MIDI チャンネルメッセージ

項目	MIDI コマンド	リマーク
注意してください	8n kk vv	kk=0x00~0x78 vv=0x00~0x7F
に注意してください	9n kk vv	kk=0x00~0x78 vv=0x00~0x7F
すべてのメモをオフ	8n 7B 00	\
ピッチベンド	En kk vv	kk=0x00~0x7F vv=0x00~0x7F

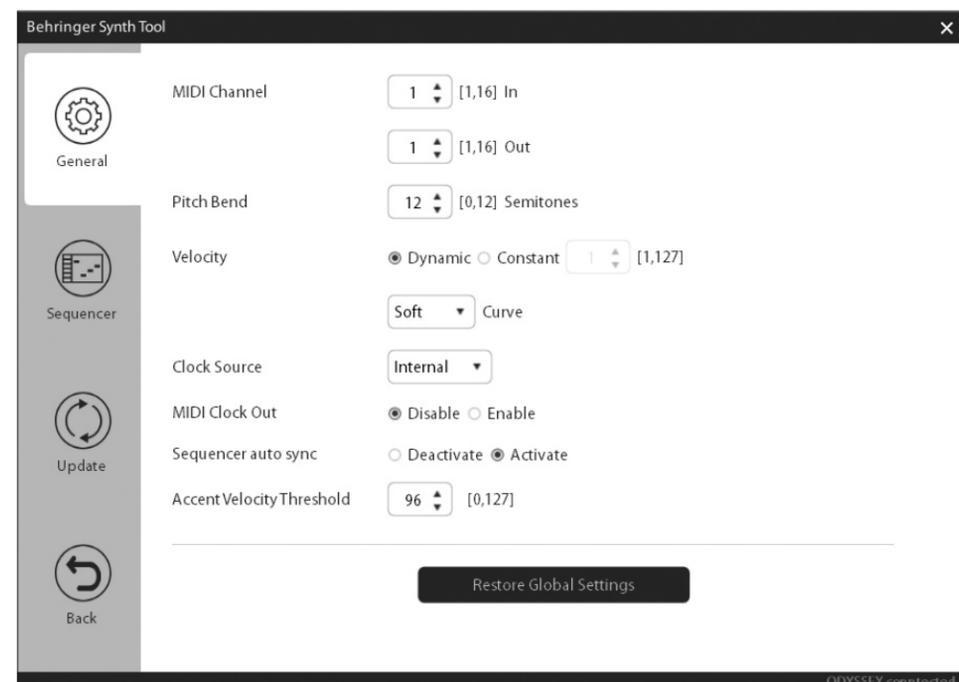
MIDI システムのリアルタイムメッセージ

項目	MIDI コマンド	リマーク
SysRT クロック	F8	タイミングクロック
SysRT 開始	FA	開始
SysRT 続行	FB	継続する
SysRT 停止	FC	やめる

SynthTool

SynthTool アプリは、当社の Web サイトの ODYSSEY 製品ページから無料でダウンロードできます。

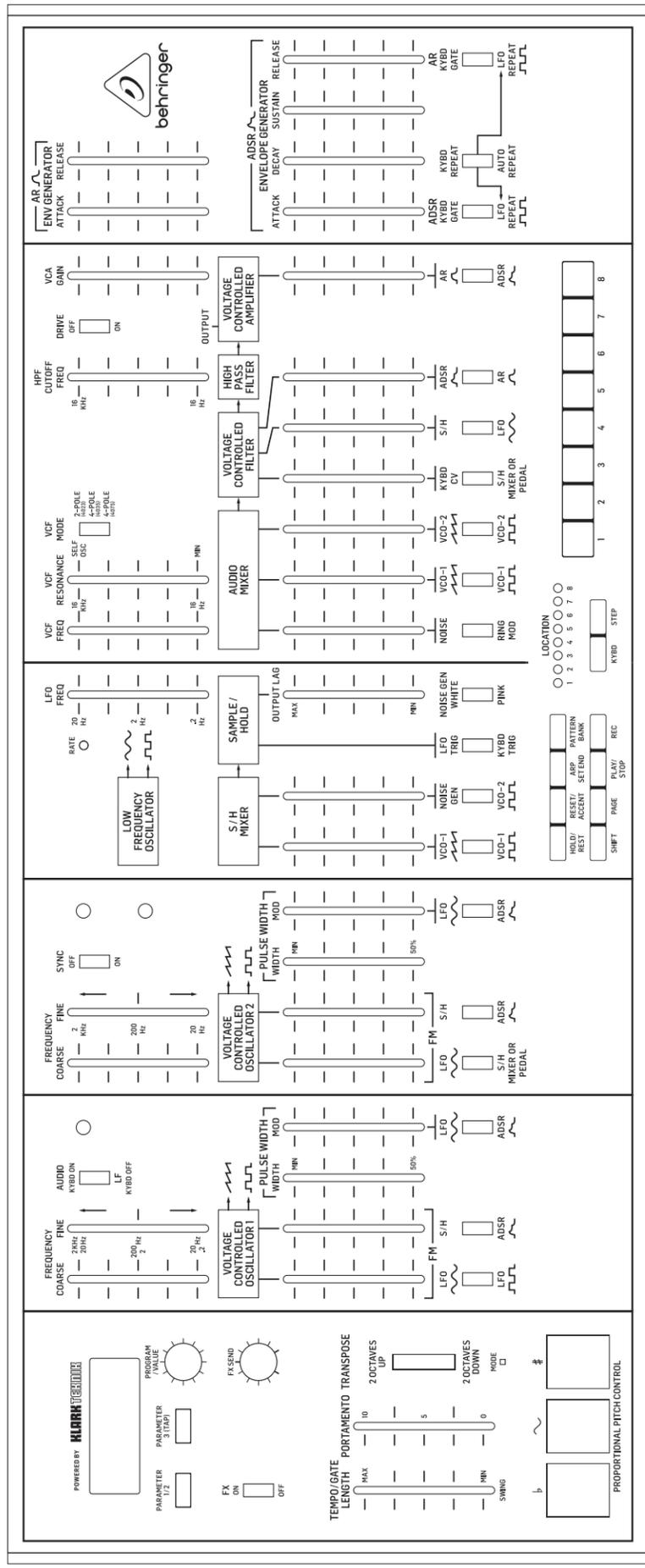
1. USB 接続を使用してホストコンピューターを ODYSSEY に接続します。
2. 最新の SynthTool を実行すると、以下の一般的な一般的なインターフェイスに示すように、メインの ODYSSEY メニューが表示されます。
3. さまざまなパラメータを選択して調整できます。
4. SynthTool には、シーケンサーセクションとシステムファームウェアアップデートセクションもあります。



オデッセイ効果

効果	パラメータ1	値	パラメータ2	値	パラメータ3	値
教会	減衰	1~10 秒	形状	1 から 50	ダンピング	明るい、暗い
コンサート 1	減衰	0.5~5 秒	コーラス	1 から 30	ダンピング	明るい、暗い
コンサート 2	減衰	1~5 秒	初期レベル	-12 から +12	ダンピング	明るい、暗い
劇場	減衰	0.4~3 秒	深さ	0 から 9	ダンピング	明るい、暗い
ルーム 1	減衰	0.5~5 秒	密度	0~100%	ダンピング	明るい、暗い
ルーム 2	減衰	0.3~2.5 秒	事前遅延	0~50 ミリ秒	ダンピング	明るい、暗い
ルーム 3	減衰	0.2~10 秒	事前遅延	0~200 ミリ秒	ポジション	フロントリア
商工会議所	減衰	0.1~0.4 秒	サイズ	1 から 30	ダンピング	明るい、暗い
Digiverb	減衰	0.4~4.5 秒	高減衰	x0.25、0.33、0.5、最大	アウトセル	フロントリア
プレート 1	減衰	0.5~3 秒	事前遅延	0~40 ミリ秒	ダンピング	明るい、暗い
プレート 2	減衰	0.3~4 秒	事前遅延	0~40 ミリ秒	ダンピング	明るい、暗い
春	減衰	1~4 秒	事前遅延	0~150 ミリ秒	タイプ	モダン、ヴィンテージ
ゲート 1	減衰	1 から 12	事前遅延	0~400 ミリ秒	タイプ	生きている、ゲート付き
ゲート 2	減衰	1~20 秒	事前遅延	0~30 ミリ秒	ダンピング	明るい、暗い
逆行する	減衰	1~20 秒	事前遅延	0~30 ミリ秒	ダンピング	明るい、暗い
ディレイ	フィードバック	0~100%	モード	モノ、スプレッド、ピンポン	テンポ	72~500 Bpm またはタップ
エコー	フィードバック	0~100%	ダンピング	1 から 50	テンポ	72~500 Bpm またはタップ
雰囲気	サイズ	1 から 30	テールゲイン	0~100%	ダンピング	明るい、暗い
アーリーリバース	サイズ	1 から 30	拡散	1 から 20	ダンピング	明るい、暗い
コーラス	深さ	-20~ +20	LFO 速度	0.05~5 Hz	Lfo ウェーブ	サイン、トライアングル
フランジャー	深さ	-20~ +20	共振	-100~ +100%	テンポ	5~400 Bpm、またはタップ
Phaser	深さ	-20~ +20	共振	1 から 50	テンポ	5~400 Bpm、またはタップ
パン/トレモロ	深さ	-100~ +100%	LFO ウェーブ	トライ、ランプ、スクエア	テンポ	5~400 Bpm、またはタップ
デチューン	デチューン	-99~ +99%	事前遅延	0~300 ミリ秒	ダンピング	明るい、暗い
ピッチ 1	シフト	-12 から +12	事前遅延	0~300 ミリ秒	デチューン	0、20%
ピッチ 2	シフト A	-12 から +12	シフト B	-12 から +12	展開する	狭い、広い
遅延+コーラス	残高	-50~ +50%	コーラスの深さ	-20~ +20	テンポ	75~500 Bpm、またはタップ
ディレイ+リバース	残高	-50~ +50%	リバースディレイ	1~5 秒	テンポ	114~500 Bpm、またはタップ
コーラス+リバース	残高	-50~ +50%	リバースディレイ	1~5 秒	コーラスの深さ	ソフト、ディーブ
LFO フィルター	母音1	A、E、I、O、U	母音 2	A、E、I、O、U	テンポ	5~400 Bpm、またはタップ
トークボックス	減衰	0.4~3 秒	深さ	0 から 9	テンポ	5~400 Bpm、またはタップ
クリッパー	歪み	1 から 100	ローカット	50~500 Hz	ダンピング	明るい、暗い

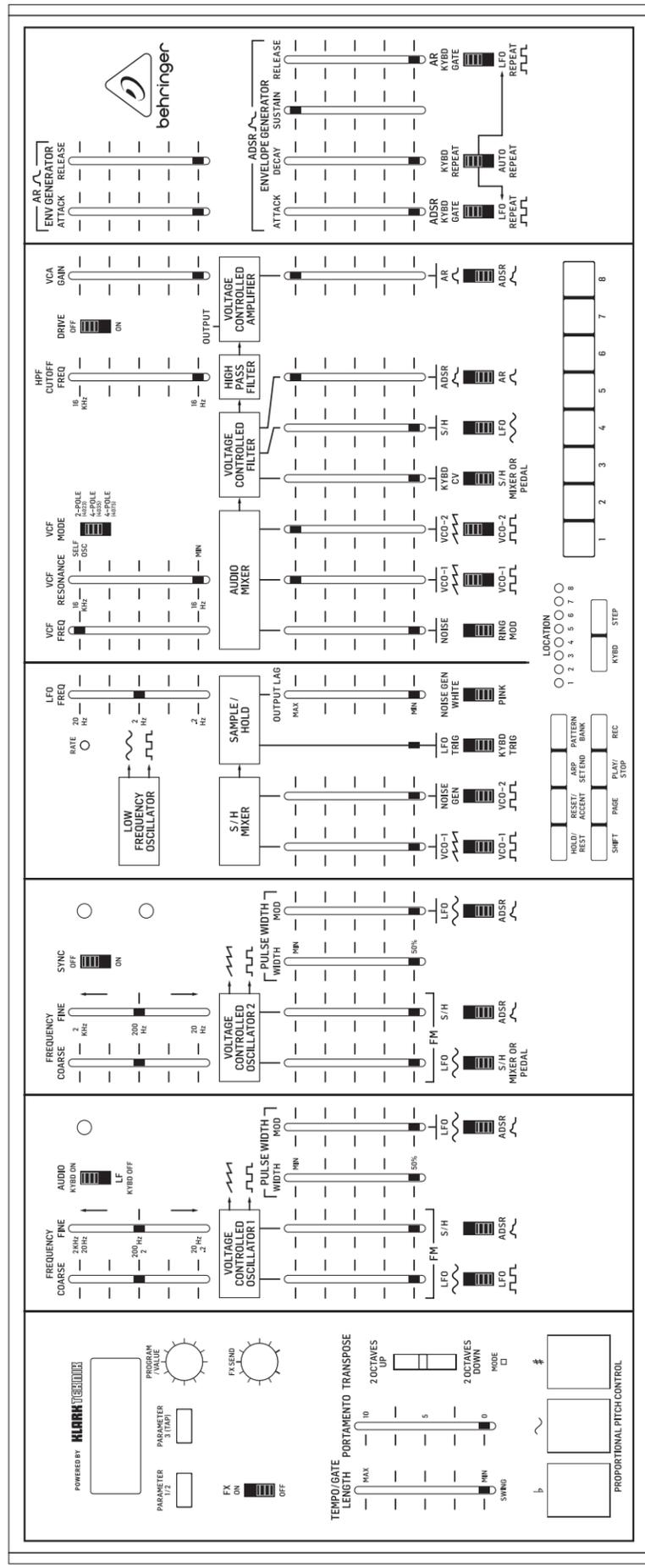
DATE:	AUTHOR:	TITLE:
NOTES:		



behinger

ODYSSEY Default Patch

NOTES: The simplified settings shown below will help you get started making sounds, with VCO-1 and VCO-2:



behinger

技術仕様

JP

シンセサイザーアーキテクチャ

実装	アナログ
キーボード	
キーボード	37 個のセミウェイトフルサイズキー
キーボードセンシング	オン/オフ、ペロシティに注意してください

FX セクション

ノブ	FX プログラム / 値エンコーダ FX 送信
スイッチ	パラメータ 1/2 パラメータ 3 (タップ) FX のオン/オフ
表示	LCD

コントローラーセクション

フェーダー	テンポ/ゲート長 (シーケンサー用) ポルタメント
感圧制御	3 倍比例ピッチコントロール
スイッチ	2 オクターブ上下

VCO1 セクション

フェーダー	周波数が粗い 周波数罰金 FM レベル (LFO 正弦波または方形波) FM レベル (S/H または ADSR) パルス幅 (50% から最小) パルス変調 (LFO 正弦波または ADSR)
スイッチ	オーディオキーボードがオン、LF キーボードがオフ FM: LFO 正弦波、LFO 方形波 FM: S/H、ADSR パルス変調: LFO 正弦波、ADSR

VCO2 セクション

フェーダー	周波数が粗い 周波数罰金 FM レベル (LFO 正弦波または方形波) FM レベル (S/H または ADSR) パルス幅 (50% から最小) パルス変調 (LFO 正弦波または ADSR)
スイッチ	同期オン、オフ FM: LFO 正弦波、S/H ミキサーまたはペダル FM: S/H、ADSR パルス変調: LFO 正弦波、ADSR

サンプルアンドホールドセクション

フェーダー	S/H ミキサー (VCO1 鋸歯状レベルまたは正方形レベル) S/H ミキサー (ノイズまたは VCO2 スクエアレベル) S/H 出力ラグ
スイッチ	S/H ミキサー: VCO1 鋸歯、VCO1 方形波 S/H ミキサー: ノイズ、VCO2 方形波 S/H: LFO トリガー、キーボードトリガー ノイズジェネレーター: 白、ピンク

LFO セクション

フェーダー	LFO 周波数
LED	LFO レート

オーディオミキサー、VCF、HPF、および VCA セクション

フェーダー	VCF 周波数 VCF レゾナンス オーディオミキサー (ノイズレベルまたはリングモッドレベル) オーディオミキサー (VCO1 鋸歯状レベルまたは VCO1 方形波レベル) オーディオミキサー (VCO2 鋸歯状レベルまたは VCO2 方形波レベル) VCF (キーボード CV または S/H ミキサーまたはペダル) VCF (S/H または LFO 正弦波レベル) VCF (ADSR または AR レベル) HPF カットオフ周波数 VCA ゲイン VCA (AR レベルまたは ADSR レベル)
スイッチ	VCF モード: 2 極 (4023: 12 dB / oct)、4 極 (4035: 24 dB / oct)、4 極 (4075: 24 dB / oct) ドライブオン、オフ オーディオミキサー: ノイズ、リングモッド オーディオミキサー: VCO1 鋸歯状、VCO1 方形波 オーディオミキサー: VCO2 鋸歯、VCO2 方形波 VCF: キーボード CV、S/H ミキサーまたはペダル VCF: S/H、LFO 正弦波 VCF: ADSR、AR VCA: AR、ADSR

AR および ADSR セクション

フェーダー	AR エンベロープアタックタイム (5 ミリ秒から 5 秒) AR エンベロープリリース時間 (10 ミリ秒から 10 秒) ADSR エンベロープアタックタイム (5 ミリ秒から 5 秒) ADSR エンベロープ減衰時間 (10 ミリ秒から 10 秒) ADSR エンベロープサステインレベル (0~100%) ADSR エンベロープリリース時間 (15 ミリ秒から 10 秒)
スイッチ	ADSR アタック: キーボードゲート、LFO 方形波リピート ADSR ディケイ: キーボードリピート、オートリピート ADSR リリース: AR キーボードゲート、LFO 方形波リピート

リアパネルコントロール

ノブ	LED の明るさ ヘッドホンレベル
スイッチ	電源オン、オフ

シーケンサー / アルペジエーターセクション

ステップ	パターンごとに最大 32 ステップ
パターン数	最大 64 パターン
メモリストレージ	それぞれ 8 パターンの 8 バンク
スイッチ	ホールド/レスト、リセット/アクセント、アルプ/セットエンド、パターン/バンク、シフト、ページ、再生/停止、録音、キーボードモード、ステップモード、ステップ 1~8
フェーダー	テンポ/ゲート長

接続性

DC 入力ジャック	9 VDC、1300 mA
MIDI イン/アウト	5 ピン DIN / 16 チャンネル
USB	USB 2.0、タイプ B
出力	1/4" TS、アンバランス最大 -20 dBu、XLR オスバランス、最大 +4 dBu
ヘッドホン	1/4" TRS、最大 50 mW + 50 mW
外部オーディオ入力	1/4" TS、最大 -10 dBu
ペダル	1/4" TS
ポルタメントフットスイッチ	1/4" TS
3.5 mm TS 入力	制御電圧: 1 V/oct、ゲート: +3 V 最小、トリガー: +3 V パルス最小
3.5 mm TS 出力	制御電圧: 1 V/oct、ゲート: +10 V、トリガー: +10 V パルス

USB

USB	—
タイプ	クラス準拠の USB 2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 以降 Mac OS X 10.6.8 以降

電力要件

外部電源アダプター	9 VDC、1700 mA
消費電力	最大 12 W

環境

動作温度範囲	5°C - 45°C (41°F - 113°F)
--------	---------------------------

物理的

寸法 (H x W x D)	133 x 589 x 409 mm (5.2 x 23.2 x 16.1")
重量	8.1 kg (17.9 lbs)
積み込み重量	10.4 kg (22.9 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You